

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
350027	X-21-B-3-350027	1	海外研修	【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択	4年
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	4年
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択	4年
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	4年
海外実習 B	佐藤 若菜			【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×
授業目的							
海外の大学において開催される語学セミナーへの参加、あるいは海外の企業でのインターンシップ、または国際 NGO やボランティアへの参加等によって、普段机上では体験できない勉学の機会とする。第1回目の2016年度は13名の学生が、台湾、フィリピン、カンボジア、ニュージーランド、カナダ、アメリカ、ロシアに渡航し、語学セミナーやボランティアなどに参加した。							
各回毎の授業内容							
第1回	【授】 夏期休暇期間中に海外の大学で開催される語学セミナーへの参加、あるいは海外でのボランティア・企業や NGO での研修といった活動を行った場合に単位を認定する。活動期間は1週間程度からそれ以上が望ましい。希望学生はゼミ教員に現地活動計画書を提出し指導を受ける。帰国後、現地実習成果をレポートにして提出、学生公開の場で報告する。事前の計画書と帰国後のレポートおよび成果報告会をベースに担当ゼミ教員が成績評価、学部長が単位認定を行う。 【前・後】 目的に応じて、それ相当の事前学習を行ったうえで参加すること。			第9回			
第2回				第10回			
第3回				第11回			
第4回				第12回			
第5回				第13回			
第6回				第14回			
第7回				第15回			
第8回				第16回			
成績評価方法							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							
成果発表(口頭・実技)							
演習							
その他							
教科書参考書							
吹浦 忠正『NGO・海外ボランティア入門—難民を助ける会 20年の軌跡から』自由国民社、1999年。 地球の歩き方編『1週間からできる海外ボランティアの旅—はじめてでもできる!本当の自分が見つかる感動体験』2008年。							
受講に当たっての留意事項							
本実習では、選定された実習地が適当かどうかを、ゼミ教員が中心となって検討し、適当と判断された場合に派遣される。場所によっては毎日の連絡が必要な場合もある。授業の一環であることを念頭に入れて実習先を選ぶこと。詳細は所属するゼミ教員に質問すること。							
学習到達目標							
海外での活動を通じ大学での机上では体験できない勉学、体験を通じて国際理解の一助とする。							
JABEE							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習